

奨励賞

まち “パレット”な街

さの ゆめの
佐野 裕芽乃 さん (尼崎双星高等学校2年)

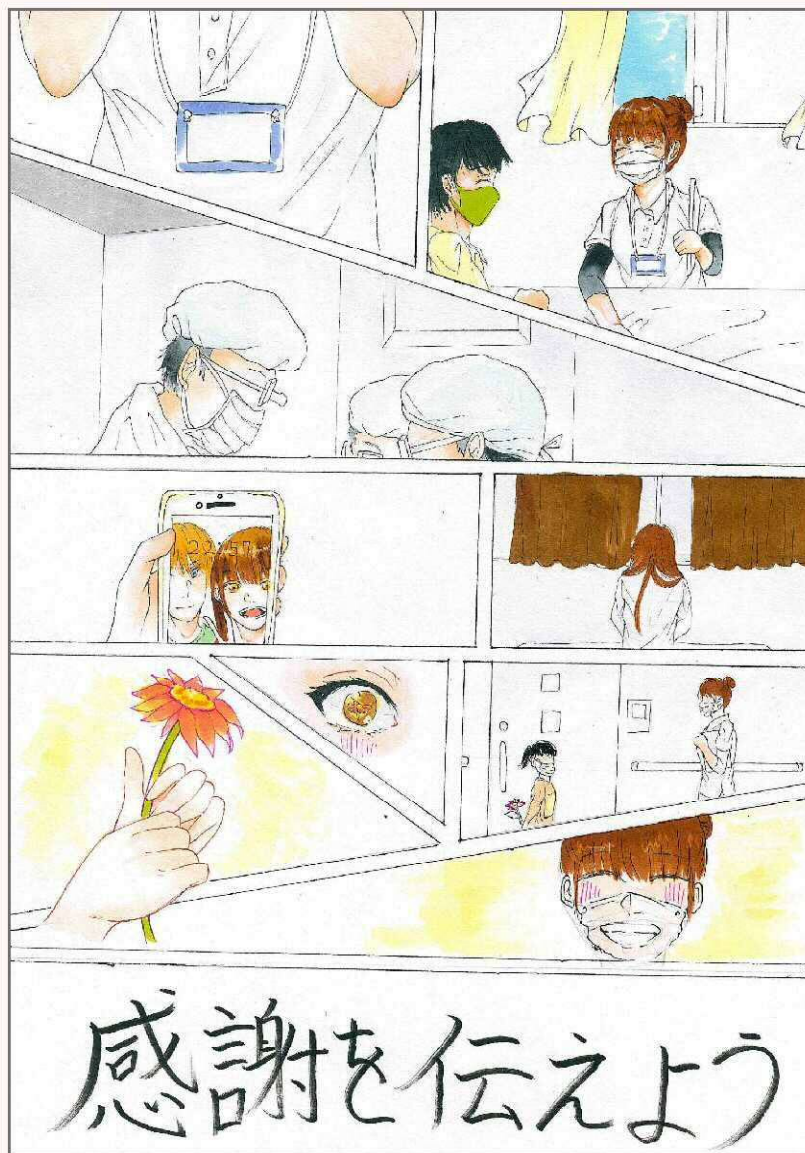


【作品に込めた思い】人をみかきで判断してほしくない。多くの人が堂々と自分らしさを出して楽しく過ごしてほしいと思い、私の理想の街を描きました。

【審査員のコメント】細やかな描画はもちろん、人それぞれに心の色があることがわかり、希望を感じる作品です。絵や色使いに思わずほっこりする内容でした。

かんしゃ きもち 感謝の気持ち

たまい つぐみ
玉井 次美 さん (小田中学校3年)



【作品に込めた思い】コロナウィルスの時期における医療従事者の方々がさまざまな差別や苦しい思いをしている事を知り、少しでも感謝の気持ちを伝えたいという気持ちをこめて描きました。

【審査員のコメント】ガーベラの花言葉は「希望」「前進」。言葉を多く語らずとも、花に乗せた思いは私たちにもしっかり伝わりました。

わたし わたし 私は私

あらき ゆうり
荒木 優里 さん (園和小学校6年)



【作品に込めた思い】性別見た目関係なく、自分らしく自信を持って生きたい気持ちを描きました。

【審査員のコメント】「らしく」に潜む偏見をうまく描いています。古い考えを脱皮するのは勇気のいること。新しい世界に進んでいく希望の光を見ることができました。